



Motoko Tanaka HARP LIVE
田中 資子
ハープ演奏会

平成23年11月6日
高倉勝子美術館「桜小路」



Motoko Tanaka
田中 資子

札幌出身。東京藝術大学音楽学部卒業。ハーブを芝侃子、故 桑島すみれ両氏に師事。日本国内でフルート、ヴァイオリン、ヴィオラとのアンサンブルや2台のハーブなど数々のコンサートを開催。2003年以降、イタリア、スイスにおいてコンサート活動。国内外において数多くのオーケストラのコンサート活動に精力的に参加し、その演奏は広く賞讃をあげている。イタリア在住。

「さくらさくら」変奏曲

作者 不明

編曲 ヨセフ・モルナール

日本の古謡。幕末、子供用の箏の手ほどき曲として作られたこの曲は、優美なメロディから、明治以降、歌として一般に広まりました。このメロディはブッチーニの歌劇「蝶々夫人」にも使われているため、世界中で知られています。

「荒城の月」主題と変奏

作者 滝廉太郎(1879-1903)

編曲 田中資子

この曲は、滝廉太郎の手になる日本を代表する名曲です。明治の詩人、土井晩翠は仙台の青葉城をゆかりの城として「荒城」の詩を創りました。同じ東北・会津若松の鶴ヶ城だったという説もあります。滝廉太郎は、大分の岡城でこの旋律をつくったと人に語ったと言われています。

「竹田の子守唄」主題と変奏

作者 不明

編曲 田中資子

この曲は、京都・伏見の民謡といわれています。まだ貧しかった頃の日本。奉公に上がった娘が親と家を思う気持ち。その情感を損なわないようにして、ハーブ・ソロ曲にアレンジしました。

「グリュムジャン」の主題による

ハーブ変奏曲

作者 M. イスピレン

編曲 田中資子

不思議な魅力のある土地トルコを訪れたとき、何かの偶然が作用したのか、行くたびに、行く先々でかならず耳にしたのがこの「グリュムジャン」という曲です。イスピレンが約30年前に書いた曲をハーブのための変奏曲にしてみました。

「ヴォーカリーズ」の主題による

ハーブのための変奏曲

作者 S. ラフマニノフ

編曲 田中資子

ピアノ奏者、作曲家として活躍したラフマニノフは、数多くの美しいメロディを残しています。その中でも、私が特に気に入っている「ヴォーカリーズ」をハーブのソロ曲としてアレンジしてみました。

「3月11日」

田中資子

2011年3月11日、宮城県をはじめとする東北・北関東の太平洋岸を襲った地震と津波は、想像を絶する被害をもたらしました。亡くなられた方々、また、未だに不安の中で日々を過ごしておられる方々を思うとき、私の中に1つのメロディがあらわれました。それが、この「3月11日」です。亡くなられた方々のご冥福を祈り、私の思いをハーブ演奏として表現させていただきます。

「さくらさくら」変奏曲

作者 不明

編曲 ヨセフ・モルナール

日本の古謡。幕末、子供用の箏の手ほどき曲として作られたこの曲は、優美なメロディから、明治以降、歌として一般に広まりました。このメロディはプッチーニの歌劇「蝶々夫人」にも使われているため、世界中で知られています。

「荒城の月」主題と変奏

作者 滝廉太郎(1879-1903)

編曲 田中資子

この曲は、滝廉太郎の手になる日本を代表する名曲です。明治の詩人、土井晩翠は仙台の青葉城をゆかりの城として「荒城」の詩を創りました。同じ東北・会津若松の鶴ヶ城だったという説もあります。滝廉太郎は、大分の岡城でこの旋律をつくったと人に語ったと言われています。

「竹田の子守唄」主題と変奏

作者 不明

編曲 田中資子

この曲は、京都・伏見の民謡といわれています。まだ貧しかった頃の日本。奉公に上がった娘が親と家をを思う気持ち。その情感を損なわれないようにして、ハーブ・ソロ曲にアレンジしました。

「グリュムジャン」の主題による

ハーブ変奏曲

作者 M. イスピレン

編曲 田中資子

不思議な魅力のある土地トルコを訪れたとき、何かの偶然が作用したのか、行くたびに、行く先々でかならず耳にしたのがこの「グリュムジャン」という曲です。イスピレンが約 30 年前に書いた曲をハーブのための変奏曲にしてみました。

「アヴェ・マリア」

作者 C. グノー(1818-1893)

編曲 田中資子

1859 年に、グノーがヨハン・セバスチャン・バッハの「平均律クラヴィーア曲集第 1 番」の「前奏曲第 1 番」を伴奏に、ラテン語の聖句「アヴェ・マリア」を歌詞に用いて完成させた声楽曲であるといわれています。ハーブ・ソロでは、どのような響きなるかをお聞き下さい。

「3月11日」

田中資子

2011 年 3 月 11 日、宮城県をはじめとする東北・北関東の太平洋岸を襲った地震と津波は、想像を絶する被害をもたらしました。亡くなられた方々、また、未だに不安の中で日々を過ごしておられる方々を思うとき、私の中に 1 つのメロディがあらわれました。それが、この「3月11日」です。亡くなられた方々のご冥福を祈り、私の思いをハーブ演奏として表現させていただきます。